

大会長挨拶

この度、2026 年 9 月 18 日から 20 日までの 3 日間、北海道大学札幌キャンパスにおいて「日本宇宙生物科学会第 40 回大会」を開催いたします。歴史ある本大会を主催させていただくことを大変光栄に思っております。

本大会は、日本宇宙生物科学会にとって記念すべき第 40 回大会であり、北海道での開催は初めてとなります。全国各地から多くの皆様を札幌にお迎えできることを、実行委員一同、心より楽しみにしております。

今回の大会テーマは、「宇宙にワクワク、生命にドキドキ」です。宇宙生物科学は、人類の宇宙進出という大きな夢を支えるとともに、生命の不思議や環境への適応を探究する学問です。私たちは日々の研究の中で、新しい発見や予想外の結果に出会いながら研究を進めています。本大会が、そのようなワクワクやドキドキを共有する場となることを願っています。

本大会では、宇宙医学、宇宙農学、宇宙環境利用、アストロバイオロジーなど、多彩な分野をテーマとした 7 つのシンポジウムを企画しております。宇宙実験の成果はもちろん、将来の宇宙実験や有人宇宙探査を見据えた地上研究についても広く紹介されます。参加者の皆様には、研究成果の発表や最新の知見に触れながら、宇宙生物科学の未来に思いを巡らせていただければ幸いです。

一般演題はポスター発表を中心としております。分野や世代を越えた活発な議論を通じて、新しい視点や共同研究のきっかけが生まれることを期待しております。また、大会前日の 9 月 17 日には国際サテライトセッションも企画しております。本大会とあわせて、国際的な交流が深まる機会となれば幸いです。

また、市民公開講座やランチョンセミナーも企画しております。学会参加者のみならず地域の皆様にも宇宙生物科学の魅力を感じていただける機会となれば幸いです。

本大会では、例年に倣い学生の参加費を無料としております。未来の宇宙生物科学を担う学生や若手研究者の皆様にも積極的に参加いただき、多くの出会いと刺激を得ていただければと思います。

また、懇親会は北海道庁赤れんが庁舎にて開催いたします。北海道を代表する歴史的建造物の中で、旧友との再会を喜び、新しい仲間との交流を深めながら、楽しいひとときを過ごしていただければと思います。

本大会を通じて、宇宙にワクワクし、生命にドキドキしながら、それぞれの研究や将来の宇宙探査について語り合い、新たな発見や出会いにつながることを願っております。そして、参加される皆様一人ひとりのワクワク、ドキドキがさらに大きく膨らむ大会となることを願っております。

札幌で皆様とお会いできることを心より楽しみにしております。

2026 年 6 月
日本宇宙生物科学会第 40 回大会
大会長 藤田 知道(北海道大学)

